| 令和７年第３回（６月）上越市議会定例会 |
| --- |
| 農政建設常任委員会 報告資料 |
| ガス水道局 供給計画課 |

# 県営高田発電所水圧管路破断事故に伴う対応状況について

## １　対応状況

○　４月５日深夜、県営高田発電所において、後谷ダムから発電所に導水している水圧管路が破断する事故が発生し、原水の流入がなくなったことから城山浄水場の運転を停止

○　城山浄水場の運転停止直後から、正善寺浄水場の配水量を増加し、あわせて、予備水源である地下水浄水場（和田浄水場及び深谷浄水場）の運転準備を開始

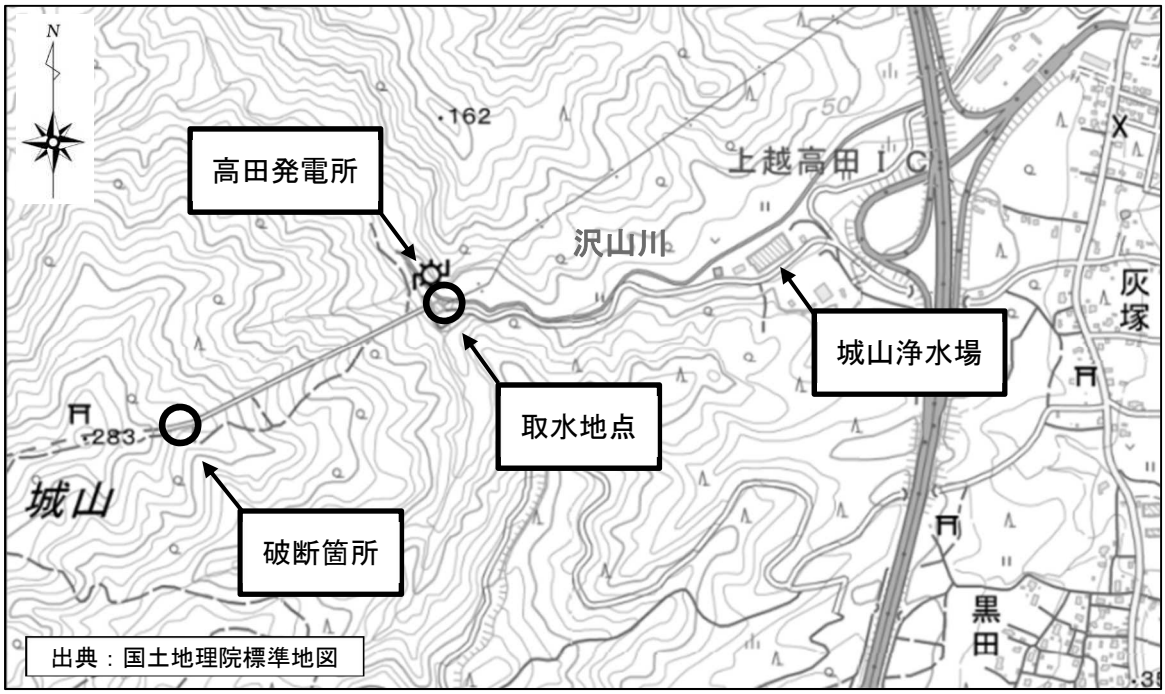
○　４月９日に地下水浄水場の運転を開始し、当面の給水体制を確保

○　高田発電所を管理する新潟県企業局及び上越利水事務所には、事故発生直後から早期の通水再開を要請

○　後谷ダムからの通水再開に時間を要する見込みであることから、代替水源からの緊急取水を検討

○　緊急取水先として、城山浄水場取水口に近接する一級河川関川水系沢山川を選定し、４月 17 日から関係機関（国土交通省及び新潟県）及び水利使用者と協議を進め、同意及び許可を得られたことから、試験運転、水質検査を経て、６月上旬から城山浄水場の運転を再開できる見込み

（位置図）






裏面に続く

2　今後の予定

○　水の需要期である夏場の水道水供給に支障を来さないよう、緊急取水による城山浄水場の運転に加え、地下水浄水場の運転を継続するとともに、浄水場間の効率的な配水運用を行っていく。

○　県は、土砂崩れの原因について、令和 7 年 6 月頃に調査・究明結果の取りまとめを行う予定。また、令和 7 年 9 月頃に崩壊箇所の復旧方法を確定する予定としている。一方、破断した水圧管路については、城山浄水場への応急的な給水路の確保を優先的に検討することとしており、工法検討等に市も積極的に関与しながら、後谷ダムからの早期通水再開を引き続き求めていく。